

## VI 道路改良事業：主要地方道矢野安浦線 熊野バイパス

### (1) 事業概要

- ① 事業箇所 安芸郡熊野町川角～安芸郡熊野町萩原
- ② 規模等 道路延長：2,360m 車道幅員：13.0m（全幅員：25.0m）
- ③ 全体事業費 約7,400百万円
- ④ 工期 平成18年度～令和10年度

### (2) 再評価の事由

知事が特に必要と認めた事業のため（新規補助事業採択）

### (3) 審議内容

#### ① 事業の内容と必要性

本路線は広島市安芸区矢野から呉市安浦町を連絡する地域幹線道路であり、軌道系アクセスのない内陸地域の交流・経済活動を支え、広島都市圏における広域的な都市間の物流及び交流の役割を担う極めて重要な路線であるが、熊野町内では慢性的な渋滞が発生している。

渋滞緩和、沿道環境の改善、地域間の連携強化等を目的とし、バイパス整備等を行うことにより、物流や人流の活性化を図り、力強く接続的な経済成長につなげるためには、引き続き本事業を推進していく必要がある。

#### ② 事業を巡る社会情勢及び必要性

国勢調査によれば、熊野町の人口は、平成27年度は23,755人、道路交通センサスによれば、平成27年度は18,463台/日である。

今後、広島熊野道路の無料化が令和2年12月に予定されており、さらに、本路線は第一次緊急輸送道路に位置付けられており、大規模な災害が発生したときの本地域における救命活動や物資輸送などを迅速かつ確実に行うためには不可欠な路線であることから、本路線の整備は必要性があると考えられる。

#### ③ 進捗状況と今後の見通し

事業は計画どおり進捗しており、令和10年度の完了に向け、順調に事業が進んでいる。

#### ④ 現時点での費用便益比

費用便益比 B/C については、「費用便益分析マニュアル（H30.2 国土交通省道路局 都市・地域整備局）」に準拠して行われた分析によれば、評価期間を供用後の50年間、社会的割引率を4.0%とした結果、6.2（総便益（B）：427.2億円、総費用（C）：68.7億円）となっている。

#### ⑤ 地元からの要望

地元の熊野町は、当該道路は広島市内から広島空港へのサブルートや周辺市町との物流及び交流の役割を担う重要な広域ネットワークを形成する基幹道路であるが、朝夕の慢性的な著しい渋滞が問題となっており、さらに、広島熊野道路の無料化により更なる渋滞が予想されることから早期完成を要望している。

### (4) 結論

事業の必要性と費用便益比を勘案し、当該事業の継続実施については適当と判断する。

関係各位には、予定としている令和10年度までに事業を完了させ、計画どおりの事業効果が得られるよう、一層の努力をお願いする。